

会議議事録(要旨)

1 会議名	令和元年度 第3回長岡市地域公共交通協議会
2 開催日時	令和2年2月21日(金曜日) 午前10時00分から
3 開催場所	フェニックス大手イースト まちなかキャンパス3階 301会議室
4 出席者名	茂田井会長、佐野副会長、中山委員(代理:小川様)、鈴木委員、焼田委員、小林加津春委員(代理:長谷川様)、野口委員(代理:平澤様)、佐野委員(代理:桜井様)、山本委員、中山委員、渡邊委員、宇佐美委員 【欠席】 三本委員、高橋委員、佐々木委員、小林守委員
5 議決事項	(1) 小国地域自家用有償旅客運送の更新登録について (2) 生活交通改善事業計画(バリアフリー化設備等整備事業)について (3) 令和2年度事業計画(案)について (4) 令和2年度歳入歳出予算(案)について
6 協議事項	(1) 路線バスの運行見直しについて (2) 自家用有償旅客運送の運行見直しについて (3) 長岡市地域公共交通網形成計画の実施状況について
7 協議結果の概要	・議題(1)～(4)について承認された。
8 審議の内容	
事務局	<p>【議決事項】</p> <p>(1) 小国地域自家用有償旅客運送の更新登録について</p> <p>資料に基づき、議決事項(1)を説明。</p> <p>(以下、質疑応答)</p>
事務局	<p>【議決事項】</p> <p>(2) 生活交通改善事業計画(バリアフリー化設備等整備事業)</p> <p>資料に基づき、議決事項(2)を説明。</p> <p>(以下、質疑応答)</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインタクシー等について、速やかに導入の手続きを取っていただき、感謝している。今回もしっかりと手を挙げて導入したいと考えている。また、少しでも補助をしていただきたい。ちなみに柏崎市では、災害防止協定を結んだこともあり、5万円の補助制度ができている。県にもご検討いただきたい。 ・身体・知的の2区分における運賃の割引率として1割引きとあるが、長岡市では身体、知的だけでなく精神障害の方への補助も始まっている。全県に広げるべく検討している。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・情報をいただき感謝する。補助制度については、市ではまだ踏み切れていないところではあるが、可能性を検討していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ノンステップバスは低床バスと認識しているが、この車両は車いすの方も乗り降りできるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・スロープを出せば、車いすの方も乗降できる。
【議決事項】	<ul style="list-style-type: none"> (3) 令和2年度事業計画（案）について (4) 令和元年度交通関連事業について
事務局	資料に基づき、議決事項(3)、(4)を説明。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・交通空白地での移動手段の確保は、手探りではあるが一歩でも先に進めたい。交通空白地対策はこれが全部ではなく、利用者を増やす取り組みが必要。 <p>(以下、質疑応答)</p>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・和島地域の移動バスは、1便あたり平均1.5名が利用とあるが、これに対してバスがかなり大きい。車両サイズを決めた経緯を教えてください。 ・栃尾地域の乗合タクシーは、稼働率を下げた1便当たりの利用者数を増やしたほうが良いと思う。例えば、利用者が多い便は運賃を安くし、利用者が少ない便は運賃を高くすると、どちらの便でも良い人は、安い便を選択する。利用者が1人しかいないような便を減らすと効率的である。 ・ICカードは基本的にコストが高いため、QRコードなども検討してみてもどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・和島のバスは、実証実験的に高齢者が多い地域で運行するにあたり、地域資源を探る中で割烹バスに協力していただくことになり、割烹が所有している車両を利用している。来年度は、別の方法で実証実験を行いたいと考えている。 ・栃尾については、いただいた意見を参考にしつつ、アンケート結果等を見ながら、検討の材料としていきたい。三条では、乗合の人数によって運賃が変わるなど、柔軟な料金体系をしているので、そういったことも視野に入れながら検討していきたい。 ・ICカード導入については、QRコードも含めて、事例を揃えながら、専門家の意見を聞きつつ勉強会を進めていきたい。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスや企業の送迎バスなど、使われていない時間帯があると思うが、これを活用し、通院や買い物に利用できたら良いと思う。保険等の整備が必要だと思うが、高齢者の通院や買物が社会的な課題となる中で、いろいろな立場の人が協力して取り組むことが必要だと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にとっての心配事は、交通事故である。高齢者は、運転を続けても良いか、辞めるべきか、認知症テストに合格できるか、というようなことを心配している。老人会では、男性が運転をして、女性を乗せて来る場合が多かったが、最近では、運転する方が、乗せて何かあっては嫌だということで、人を乗せたがらないため、集会などの人の集まりが悪くなってきている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・空き時間のある車の活用としては、自分が運転する車に人を乗せたがらない方が増えている話にもあるが、中之島の取り組みなどがある。行政としてどのようなフォローアップができるか、模索している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな公共交通システム勉強会を開催するとあるが、国では、新規モビリティサービスということで、AI等の先進的な取り組みに対する支援が始まっている。キャッシュレス決済の導入についても、交通事業者への支援がこの2月から始まっている。そういったものも検討のベースに入れていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の事故防止として、やはり自家用車に代わる足が必要である。和島等では、事業者が撤退せざるを得ない状況となり、近隣の住民の方に不便な思いをさせてしまった。現在、運輸局から許可をもらう際に、営業車は5両、運転手は5人以上なければならないという制約がある。富山や石川では、2両でOKになった地区もある。新潟でも働きかけはしている。 ・移動の足の確保のため、事業区域の拡大ということもあるが、例えば長岡から和島等へ長距離を走って迎えに行っても迎車料金は100円であり、その地域内だけの利用という場合がある。やはり、地域に乗合いタクシー等が必要である。先ほども出たように、乗合率を高めることが必要であり、新潟市南区では、乗合人数に応じて料金を変えたことで、乗合率が40%程度になり、採算性も高まったということがある。弾力的な運行ができるよう、事業者にも指導していきたいと考えている。 ・自家用有償は、誰でもいいような体制だと事故にもつながるので、慎重に考えてほしい。実証運行については、成果が出ない場合は別の方法で再度実証運行をするなどの覚悟もして対応する心構えである。 ・NearMeの実績と今後の見通しを教えていただきたい。 ・また、山古志ではクルーの制度を利用しているが、現状はどうなっていて、今後の予定はどうなっているか、差し支えなければ教えていただきたい。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・NearMeについては、近々結果が公表される予定。NearMeとの意見交換は現在も行っている。相乗りについては、実証実験は終わっているがシステムとしては残っており、利用可能であるので、PRしていきたいと考えている。NearMeでは、観光タクシーの実験や都内では成田空港へのシャトル便も行っている。 ・山古志のクルー制度については、基本的にNPOが行っており、12月までは実証実験ということだったが、まだ継続されている。山古志では基本的に互助の考えでやっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・栃尾で運行している秋葉タクシーだが、本格運行を目指してできることはすべてやると意気込んでいたので、お伝えしておく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・栃尾の利用実績を見ると、やはり原信や熊四郎商店へ買い物に行く人が多い。利用者が、計画的な買い物をする意識を持ち、何曜に、どの便で買い物に行くと計画しておけば、乗合率を高めることができると思う。高齢の方は、毎日買い物に行き、食材を見てからメニューを決めるという人も多いため、今後はもっと計画的に、まとめて買物をしようというPRをしてもよいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・補足すると、高齢者は、ポイントが多くもらえる日を狙って買い物に行く人が多い。そういう日は、駐車場にも車がたくさん停まっており、人が多く集まっている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関や商工団体等との連携や、キャッシュレス等の技術の進展についての情報収集等、しっかり進めなければならないと考えている。今後は、交通事業者とも連携して、検討を進めることが必要になるが、今回いただいた意見を来年度以降に活かしていただきたい。
【協議事項】	(1) 路線バスの運行見直しについて
事務局	資料に基づき、見直し内容について説明。
委員	資料に基づき、運行時刻の修正について説明。 (質疑なし)
【協議事項】	(2) 自家用有償旅客運送の運行見直しについて
事務局	資料に基づき、見直し内容について説明。 (以下、質疑応答)

副会長	<ul style="list-style-type: none"> 便数は昨年度から今年度にかけてかなり減って、来年度はそれほど変わらないということだが、2018年と比較して、2019年の補助金額と利用者数はどのくらいになりそうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 補助金額は、おおよそ1割減と思われる。予算ベースでは、1割程度の減となっている。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> 小国地域で、3.6人乗っていた8:10発を減便して、8:45発を追加しているが、この便は2.3人しか利用していない。利用者数が減少しているが、これで良いのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 利用実態を見ながら見直しをしていきたいと考えている。
【協議事項】	(3) 長岡市地域公共交通網形成計画の実施状況について
事務局	資料に基づき、実施状況について説明。
	(以下、質疑応答)
副会長	<ul style="list-style-type: none"> 越後交通が休日乗り放題をやられているが、需要の増減や、どういう人が利用しているかを教えていただきたい。
委員随行者	<ul style="list-style-type: none"> 長岡駅から寺泊方面への観光利用や学生の利用が多い。しかし、周知不足もあり、本来利用促進を図りたかった十日町や柏崎方面の利用はいまいちとなっている。長岡市以外での利用促進を強化していきたいと考えている。利用者は、高齢者の利用が想定より少ないため、周知をしていきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 休日乗り放題の料金はいくらか。
委員随行者	<ul style="list-style-type: none"> 大人が1,000円、子どもが500円である。
【その他】	情報提供
委員	<ul style="list-style-type: none"> 全国ハイヤー・タクシー協会発行の広報誌 TAXI TODAY と、乗合タクシー事例集を紹介。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な運送サービスの提供の確保に資する取組を推進するための地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部改正について説明。 バス停留所の安全性確保に関する対策の検討・協議の実施状況について説明。

【その他】	全体意見
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・川口は利用者の減少が少ないので、理由や仕組みなどを検討し、他の地区にも導入できればよいと思う。
【その他】	スケジュールについて
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の第1回協議会は5月を予定している。

(以上)

■協議会の様子

